

方法書の審査書(案)

No.		
事業名		(仮称)安岡沖洋上風力発電事業
事業者名		前田建設工業株式会社
事業実施区域		山口県下関市安岡沖
事業 特 性	事業の内容	<p>風力発電所設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風力発電所出力:最大60,000kW ・風力発電機の台数:3,000kW×20基、3,600kW×16基又は4,000kW×15基 ・ブレード中心高さ:81~100m ・ローター直径:112~130m
	工事の内容	主要な工事として、風車タワー基礎工事、風車組立工事
地 域 特 性	大気質	二酸化硫黄の日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続した記録は無かった。二酸化窒素の98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日は無かった。浮遊粒子状物質の日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したのは、5箇所ある観測地点のうち2箇所で見られた。
	騒音・超低周波音	対象事業実施区域から2kmの範囲で、騒音を測定した結果は見られない。
	振動	下関市内において、振動については定期的な観測はされていない。
	水質	調査対象区域の水質の状況は、pHは8.2、DOは7.8~7.9mg/L、CODは1.3~1.4mg/L、大腸菌群数は0.33~2.7MPN/100mL、n-ヘキサン抽出物質は未検出、全窒素は0.14~0.19mg/L、全リンは0.008~0.010mg/Lの値を示している。
	底質	底質の土質区分は、シルト質細砂、砂及び礫混じり砂

<p>地形・地質</p>	<p><地形の状況> 調査海域の海底地形は、安岡地区の村崎ノ鼻から北西方向の来留見ノ瀬付近にかけて尾根状の地形の高まりが存在し、所々に島状の高まりが見られる。この尾根状地形の南北両側は、平坦な低地となっており、沖に向かって緩やかに水深を増している。南側の綾羅木川河口沖では、地形勾配が0.3%程度の平坦な海底が広がっており、北側の福江地区沖にも同様の平坦な地形が存在する。</p> <p><地質の状況> 周辺の地質構造の特徴は、国道の東側に沿うように断層があり分かれている。海岸域は鼻ヅラの北側では、砂砂(沖積世)となっている。鼻ヅラ付近の丘陵地では礫岩、砂岩、頁岩互層となっている。</p>
<p>動物</p>	<p><哺乳類> 5目10科17種が記録されている。重要種としては、ニホンザル、イタチ、アナグマ等5種。</p> <p><両生類・爬虫類> 2009年に安岡海岸でアカウミガメの産卵が確認。</p> <p><鳥類> 12目36科82種が記録されている。このうち重要種としては、カラスバト、コクガン、ヒシクイ等41種。</p> <p><昆虫類> 4目18科105種が記録されている。このうち重要種としては、ベニイトトンボ、オヨギカタビロアメンボ、クロツバメシジミ等11種。</p> <p><魚類> 7目10科20種が記録されている。このうち重要種としては、ウナギ、メダカ、イトヨ日本海型、トビハゼ等7種。</p> <p><その他無脊椎動物> 2門3綱5目15科23種が記録されている。このうち重要種としては、カブトガニ、オオタニシ、ホラアナミジンナ、ヒロクチコギセル等6種。</p>
<p>植物</p>	<p>資料によると、1門1綱5科5種が記録されている。このうち重要種としては、イワアカザ、シマキツネノボタン、バイカイカリソウ、キビヒトリシズカ、ムカゴニンジンの5種が記録されている。</p>
<p>生態系</p>	<p>ハチクマの主要な渡り経路になっていると思われる他、アビ類やアジサシ類、ミヤコドリなど海鳥の重要な生息海域であるとの報告がある。</p>
<p>景観</p>	<p>対象事業実施区域とその周辺2kmにおいて景観資源は確認されなかった。主要な眺望点は、フィッシングパーク、安岡地区公園、村崎の鼻、安岡駅、安岡海岸、綾羅木海岸、綾羅木郷遺跡公園市立考古学博物館の7か所が抽出された。</p>
<p>触れ合いの活動の場</p>	<p>対象区域周辺では、安岡海水浴場、綾羅木海水浴場の2つの海水浴場と魚釣り施設のフィッシングパークが確認された。</p>

	<p style="text-align: center;">廃棄物等</p>	<p>工事に伴う産業廃棄物の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風車基礎工事に伴う浚渫土砂 ・主要資材・機材搬入時の梱包材料 ・SEP等の建設機械で使用する油脂類 ・作業員の飲食廃棄物 <p style="text-align: right;">など</p>
	<p style="text-align: center;">その他 (教育・医療・福祉施設の配置状況、公園指定等環境保全地域区域指定状況、既設風力設置状況等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象区域の教育施設の状況は、小学校は4校、中学校は3校、高等学校は1校ある。 ・調査対象区域の医療施設の状況は、野村病院、安岡病院、水の木会下関病院がある。 ・調査対象区域の福祉施設等の状況は、福祉施設が6箇所ある。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境影響評価の項目</p>	<p style="text-align: center;">参考項目との差異</p>	<p style="text-align: center;">別紙参照</p>
<p style="text-align: center;">調査・予測・評価の手法</p>	<p style="text-align: center;">方法書P.136～P.289参照</p>	
<p>住民意見の概要及び事業者見解・関係都道府県知事意見</p>	<p>住民意見の概要及び事業者見解：資料3-3-3参照 関係都道府県知事意見：資料3-3-4参照</p>	
<p>審査結果</p>	<p>環境審査顧問会風力部会の御意見を聞いたうえで、対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法について必要な意見を記載。</p>	
<p>備考</p>	<p>本審査書は事業者から届出された環境影響評価方法書を基に作成したものである。</p>	

表4.1.3 環境影響評価の項目と選定、非選定

供在物は土用及の工地び存作又		実工事の			影響要因の区分					
動施設の稼	の及び地形在改設変	なる影一時的よ	造工に等	の稼働機	出材入等	工事用資	環境要素の区分			
				○	○	窒素酸化物	大気質	大気環境	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として、調査、予測及び評価されるべき環境要素	
				○	○	粉じん等				
○				○	○	騒音	騒音			
○						低周波音				
				○	○	振動	振動			
		○	○			水の濁り	水質			水環境
		○				水素イオン濃度				
	○					付着生物防止剤				
				○		有害物質	底質			
				○		化学的酸素要求量、全硫化合物、強熱減量、粒度分布				
	○					流向・流速	その他			
	×					重要な地形及び地質	地形及び地質	その他の環境		
○						風車の影	その他			
	○					電波障害				
○				○		水中音				
○		○	○			鳥類(海鳥等含む)	重要な種及び注目すべき生息地(海域に生息するものを除く)	動物	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	
○		×				哺乳類(コウモリ)				
	○	○				底生生物	海域に生息する動物			
	○	○	○			魚類				
	○	○	○			海産哺乳類				
	○	○				潮間帯動物				
	○	○				海産爬虫類(ウミガメ)				
	×	○				動物プランクトン				
	×	○				卵・稚仔				
	×	×				重要な種及び重要な群落(海域に生息するものを除く)	海域に生息する植物			植物
	○	○				海藻草類				
	○	○				潮間帯植物				
	×	○				植物プランクトン				
	○	○				藻場				
○		○				地域を特徴づける生態系	生態系			
	○					主要な眺望点、景観資源及び眺望景観	景観	人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素		
	○			○		主要な人と自然のふれ合いの活動の場	人と自然との触れ合いの活動の場			
		○				産業廃棄物	廃棄物等	環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素		
		○				残土				

注) 灰色網掛け：主務省令における参考項目であることを示します

○：環境影響評価項目として選定した項目

×：環境影響評価項目として選定しない項目